

リニアまちづくり構想の中間報告 効果を生かす施策を抽出

昨年度に発足した「リニアまちづくり構想市民委員会」では、リニア中央新幹線（以下、リニア）の開業を生かしたまちづくりの構想について、さまざまな方向から検討しています。ここでは、昨年度中にまとめた取り組み方針などを中間報告として紹介します。同委員会では、本年度も検討に取り組み、本年度末までに具体的な施策を提言する予定です。

問 リニアまちづくり課（内線 385）

▲（左下）建設が進められる山梨リニア実験線、（右上）恵那市街地から恵那山方面を望む

本年度末に施策を市に提言

「リニアまちづくり構想市民委員会」では昨年度、全体会議と各分野ごとのグループ会議を行い、リニアが開業したときの効果を生かすために考え得るさまざまな施策を抽出しました。

本年度は、これらの施策を具体的な事業化へとつなげていくために、関係する市町村や県などとの連携を視野に入れながら、施策の優先度や実施時期、実施主体など、具体的に実現化の検討に取り組みます。本年度末には、施策を市に提言する予定です。

昨年度中に同委員会でもまとめた、主な取り組み方針を中間報告として、紹介します。

期待をキャッチフリーズに

リニア開業で、新たな観光産業の発展や、移住者と2地域（都市と中間駅周辺）居住者の増加で、地域の担い手が増えることによる地域の活性化が考えられます。また企業の進出や雇用の増加、従業者の定住による商業と既存商店街の活性化、農身体験などを通じた新たな交流や地産地消による地域産業の振興なども考えられます。

これらの期待をまちづくりにつなげるため、「暮らしのびのび、遊び

構想策定までのスケジュール

■前半

・7月上旬～8月上旬＝グループ会議（施策の実施主体や手法などの検討）

・8月下旬＝第6回市民委員会（構想素案の協議）

■後半（今秋以降、JR東海の環境影響評価準備書の公表によって、詳細ルートや駅位置が示された後）

・11月中下旬＝グループ会議

・12月中下旬＝第7回市民委員会（構想案の協議）

・1月～2月＝パブリックコメント（意見の公募）

・3月上旬＝第8回市民委員会（パブリックコメントの意見の反映、リニアまちづくり構想の確認）

を温かく迎え、また旅立つ背中をやさしく見送った『迎賓』の心と『おもてなし』の文化が育まれてきたまち。リニアの中継点となった21世紀では現代の旅人たちを迎え、見送る旅の拠点として、同時に心豊かに暮らせる場所として、日本の新しいふるさとを築いていこうという思いです。

市民の生活への影響を予測

リニアの開業は、市民生活にとって良い効果をもたらすことばかりではありません。工事による掘削土の搬出などに伴う関係車両の増加による生活道路や、通学路などでの安全確保の必要性や混雑などの影響も生じると思われます。これらについては、事業者のJR東海と協議を進める必要があります。

アクセスなどの基盤を整備

●広域アクセス

- ・ 定時性や速達性のある交通網（道路や公共交通）の形成
- ・ 中津川市をはじめ、国や県、近隣市町との連携を強化し、主要道路の整備を促進

●市内アクセス

- ・ リニア駅への円滑な交通手段（道路網や公共交通）の確保
- まちづくりに必要な基盤整備
- ・ リニア効果が市内全域に及ぶため

の基盤整備を行うことや資源（水・緑・空気）、歴史を大切にしながらまちづくりの推進

工業や商業など産業を振興

●企業誘致と工業

- ・ 自然災害が少ないことや日本の真ん中を宣伝し、企業を誘致
- ・ 車両基地に隣接した地域の特性を生かす

●商業とサービス産業

- ・ 歴史や文化と連携し商店街を活性化
- ・ 生活に必要な「衣・食・住」関連

の分野を充実

●農林業

- ・ 農作物などの価値を上げ、ブランド化を強化
- ・ 農身体験や田舎体験を通じた交流の推進、地産地消の推進

●地域資源と地域ブランド

- ・ 地域資源の再発見

観光や地域の振興に生かす

●観光

- ・ 既存の観光資源を活用した魅力ある観光地づくり
- ・ 広報活動や観光キャンペーンなど

山梨実験線のバス見学会を開催

リニア中央新幹線山梨実験線の見学会を行います。リニアの概要を知り、工事状況を実際に見学することができます。参加を希望する方は、申し込んでください。

□期日 ▷1回目＝7月30日(火) ▷2回目＝8月27日(火)

▷3回目＝9月25日(水)

□時間 午前8時半～午後5時

□対象 市内在住の方

□コース 市役所(発)→山梨県リニア見学センター(山梨県都留市)→実験線見学(山梨県笛吹市)→市役所(着)
※施設内への立ち入りや走行するリニアの見学はできません。天候によっては中止することがあります

□定員 各24人(10人に満たない場合は中止)

□料金 無料(昼食、飲料は各自負担)

□申し込み方法 電話かファクス、電子メールで①氏名(参加者全員)②住所③連絡先を開催日の7日前までにリニアまちづくり課(内線385)へ申し込む。☎25-6150、✉linear@city.ena.lg.jp

JRが中間駅のイメージを発表

JR東海は、5月13日に中間駅のイメージを発表しました。内容は「将来の旅客輸送の在り方を踏まえて、従来の形にとらわれず、営業専任要員(切符販売員など)は配置しないなど、運用面も含めて、大胆に効率性と機能性を徹底して追及したコンパクトな駅」を目指すとしています。詳細はJR東海のウェブサイト(<http://jr-central.co.jp/>)で確認ができます。

アンケートにご協力を

法政大学では、市と協力し、リニアが開通する2027年の当市を予測するための研究事業に取り組んでいます。今回、研究事業の一環でアンケートを行いますので、皆さんの協力をお願いします。

□アンケートの概要 いくつかの鍵となる言葉に対する期待などを答えるもの

□応募方法 市ウェブサイト(<http://www.city.ena.lg.jp/>)から法政大学のページにリンクして回答

□締め切り 7月31日(水)

全国に向けた情報の発信

- ・ 年間を通じた多彩なイベントで、まちのにぎわいを創出

●移住と定住

- ・ 市域全体で移住者を受け入れる体制の整備
- ・ リニアによる時間の短縮を生かし、都市部との交流を推進

- ・ 自然あふれる安心・安全なまちづくりを行い定住人口を拡大

●食

- ・ 恵那の素材を生かした「食」の提供、伝統を大切にしたい「えなの食」の後世への継承

募集

報告

募集